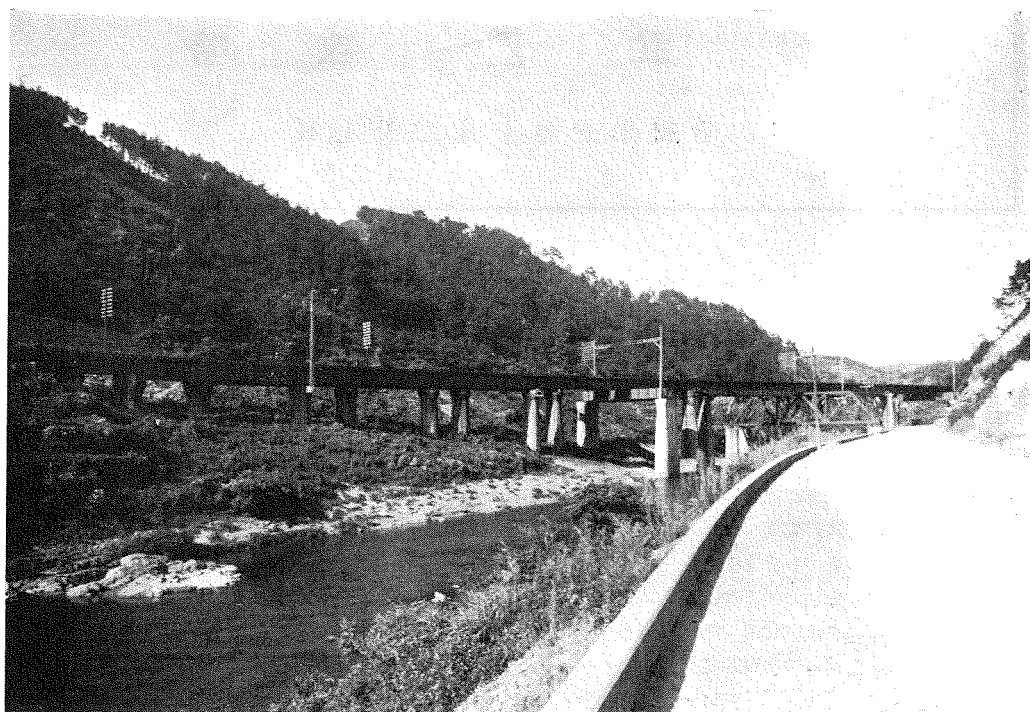


## 關西本線下大和川橋梁工事

### 龜ノ瀬隧道附近 大地迂りに伴ふ 改良工事

大阪鐵道局工務部改良課

昭和6年關西本線王寺河内堅上間龜ノ瀬隧道附近大地迂りの結果、上下線隧道破壊閉塞せられたるを以て該地迂り區域を避くる爲名古屋起點自151杆400米至154杆200米間延長約2杆800米に亘り線路變更の必要を認め大阪鐵道局に於て極力之が設計を急ぎ同年7月區間を二工區に分ち總工費120,6000圓を以て此の内一線を開通せしむる爲工事に着手同年12月單線竣功し引續き複線を竣功せしめたり。



而して本工事の内下大和川橋梁は全長 230 米にして橋梁一部半徑400米の曲線中にあり徑間は次に示す如し。

下り線	11米5	1連、	11米0	1連、	20米4	1連、
	24米0	1連、	6米4	1連、	33米7	1連、
	10米6	1連、	20米4	1連、	16米6	3連、
	8米3	1連、				
上り線	11米5	1連、	20米6	1連、	10米6	1連、
	32米7	1連、	6米4	1連、	23米8	1連、
	20米4	1連、	10米4	1連、	16米6	3連、
	17米5	1連				

本橋梁は大和川に急角度を以て斜に横斷する關係上兎角橋脚が水流を阻害する虞あるを以て特に徑間長及橋脚の構造に留意し寫眞に示す如く橋脚は一般に圓形を用ひ特に流心に近き部分の橋脚は馬脚式となせり。

尙馬脚の桁下端と洪水位との間隔は 1 米 5 支間30米にして本橋梁の總工費は約20萬圓を要せり。